

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実		
	施策	3	消防力の強化		
目的	消防団車両等の適正な維持管理				
対象	市民				
意図	消防屯所や消防団のポンプ自動車、小型動力ポンプ及び積載車を計画的に更新整備し、消防力の充実強化を図ることで市民の安心・安全を守る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○消防団装備施設整備	火災・水害等の災害対応のための施設・装備の更新 ◇消防屯所の更新…1棟 ◇ホス乾燥塔の新設…2棟 ◇消防ポンプ自動車(CD-I型)…1台 ◇小型動力ポンプ軽積載車(軽トラックベース)…1台 ◇小型動力ポンプ積載車(普通トラックベース)…1台 ◇小型動力ポンプ…3台 ◇更新予定としている第4分団第7部の小型動力ポンプ積載車の改造 ⇒団指揮車として、また故障時の代替車両として使用				
市民参画の有無	〔対象外〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会			○事業協力・協定
	後援・協賛	補助・助成			委託
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 消防屯所の更新整備	棟	計画	1	1	
		実績	1	1	
② 消防団車両等の更新整備	台	計画	5	6	
		実績	5	5	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 消防屯所の更新整備	棟	目標	1	1	
		実績	1	1	
② 消防団車両等の更新整備	台	目標	5	6	
		実績	5	6	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 消防屯所の更新について…昭和56年6月1日(新耐震基準施行)以降の屯所は、計画的な修繕を実施し平成25年度までは更新時期を経過年概ね40年としていたものを、概ね50年以上で老朽化が著しいものと改める。また、昭和56年6月1日以前に建築された屯所については、既存不適格の建築物ではあるが耐震化に多額の経費を必要とすることから、今までどおり経過年概ね40年以上で老朽化が著しいものとする。 消防団車両の更新について…消防団車両等の維持管理を徹底しながら、概ね20年を経過した車両等の中で老朽化が著しく、災害現場において使用することが適当でない判断するものを更新整備する。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	市民を火災・水害等の災害から守る消防責任を果たすため必要である。
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない	計画的な修繕により消防屯所の長寿命化を図り、今まで耐用年数概ね40年としていたものを、概ね50年に引き上げる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 ○ 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	消防屯所の計画的な修繕の実施により修繕費は増額するが、屯所の長寿命化により工事費は削減することが可能となる。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	消防屯所、消防車両等の計画的な更新により、全ての市民が平等に安全を受益することができる。
総合評価 …上記評価結果の総括		
市民の生命と財産を守る消防団の活動拠点となる消防屯所の機能向上を図るため、老朽化した施設の更新を行う。 また、消防団車両の更新を行い、現有消防力を維持するとともに、複雑多岐にわたる災害に迅速に対処できる最新の装備を備える。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業

単位：千円

	25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	74,040	54,801		△ 19,239
財源内訳	国・県	2,415		△ 2,415
	地方債	48,700	39,200	△ 9,500
	その他			
	一般財源	22,925	15,601	△ 7,324

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
消防拠点機能・装備の充実強化を図る

事業開始の背景・経緯
火災・地震・風水害等の災害から花巻市民を守るため、団員約2,000人の活動に必要な施設・装備を整備している。これらについてはできるだけ長く維持・活用することに努めているが、耐用年数等を考慮し、計画的な更新整備が求められている。

事業概要

○消防団装備施設整備
火災・水害等の災害対応のための施設・装備の更新
 ◇消防屯所の更新…1棟
 ◇ホース乾燥塔の新設…2棟
 ◇消防ポンプ自動車(CD-I型)…1台
 ◇小型動力ポンプ積載車(軽トラック)…1台
 ◇小型動力ポンプ積載車(普通トラック)…1台
 ◇小型動力ポンプ…3台
 ◇更新予定としている第4分団第7部の小型動力ポンプ積載車の改造
 ⇒団指揮車として、また故障時の代替車両として使用

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

消防屯所及び消防団車両は、発災時に異常なく使用することができるよう現地確認、調査を十分に行い、常に状態を把握することが重要である。また更新整備をするにあたり消防団の再編計画(協議中)も視野に置いて無理・無駄の無いように進める。

担当部署 部名 消防本部 課名 総務課 担当係長 三浦啓一 内線 376

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

(1) 消防屯所の整備 17,979 千円 前年当初比 2,355 千円
(充当財源：合併特例債12,900千円)

所 属	団員数	地区名	建築年	新築概要	金額(千円)	施工内容
第17分団第6部	15	新堀(上郷)	S49	木造平屋建 延床面積73㎡	17,979	建築・外構・乾燥塔・既存物解体・水道検査

- ◇ 消防屯所の状況
 - ・地震の影響と思われる車庫コンクリート床の亀裂
- ◆ 主な増額要因
 - ・建築費単価の上昇
 - ・隣接道路との高低差があるため盛土等の外構費の増

(2) ホース乾燥塔の整備 1,728 千円 前年当初比 1,728 千円

所 属	団員数	地区名	建築年	新築概要	金額(千円)	備 考
第7分団第4部	11	中笹間	S55	コンクリート柱型 H:11.50m	1,728	既存鉄骨造ホース乾燥塔は転倒危険により、H25年度に解体撤去
第7分団第5部	13	栃内	S57	コンクリート柱型 H:11.50m		

(3) 消防団車両等の整備 34,061 千円 前年当初比 ▲426 千円
(充当財源：合併特例債29,100千円)

所 属	団員数	地区名	購入年	更新車両等	金額(千円)	区分
第3分団第8部	15	湯本(五郎城)	H4	消防ポンプ車(CD-1型)	17,766	更新
第4分団第7部	12	矢沢(下通)	H4	小型動力ポンプ積載車	4,180	※変更更新
第9分団第5部1班	20	内川目(天王)	H4	小型動力ポンプ積載車	5,983	更新
第4分団第7部	12	矢沢(下通)	H5	小型動力ポンプ	5,508	更新
第9分団第5部1班	20	内川目(天王)	H4	小型動力ポンプ		更新
第21分団第4部	12	東和(倉沢)	H5	小型動力ポンプ		更新
団本部	76	消防本部		消防団指揮車	475	改造

※変更更新…普通トラック…車両から、軽トラック…車両へ変更 上記以外諸経費149千円

- ◇ 車両等の状況(直近ポンプ性能試験の結果及び直近車検の結果)
 - ・第3分団第8部【消防ポンプ自動車】

ポンプ性能	H24.9	異常なし
車 両	H24.11	ブレーキオーバーホール、クラッチマスター等取替
 - ・第4分団第7部【小型動力ポンプ積載車】【小型動力ポンプ】

ポンプ性能	H24.10	異常なし
車 両	H24.7	オイルシリンダー分解修繕
 - ・第9分団第5部1班【小型動力ポンプ積載車】【小型動力ポンプ】

ポンプ性能	H25.9	異常なし
車 両	H24.11	ブレーキオーバーホール、フォグランプ・ナンバー灯修繕
 - ・第21分団第4部【小型動力ポンプ】

ポンプ性能	H24.10	異常なし
-------	--------	------

平成 26 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ◇ 消防団指揮車の配備について
 今後、ますます複雑多様化する災害において、団員の安全管理のための情報収集や、出勤している団員に的確な指示や命令を行い効率的な部隊運用を図るため、また市民の安全を守るべく広報・避難誘導に対応をするため配備が必要である。
 しかし、指揮車の新規購入には3,200千円の予算確保が必要となることから、更新予定としている小型動力ポンプ積載車を改造して指揮車として活用。加えて団車両の故障時には代替車として使用する。
 ※新規購入の場合の費用…3,263千円(諸経費含む)
 ※改造修繕の場合の費用…548千円(")

(4) 地積測量 1,033 千円 前年当初比 1,033 千円

所 属	団員数	地区名	建築年	建物概要	賃借料(年額)	施工内容
第4分団第5部	12	矢沢 (中通)	H7	延面積58㎡	26,400円	既存消防屯所敷地地積測量
第17分団第6部	15	新堀 (上郷)	H26 更新予定	延面積73.7㎡	0円	消防屯所建築予定敷地地積測量

- ◇ 概要
- ・第4分団第5部
 現在、賃貸借契約により屯所敷地を借用しているが、土地所有者から屯所敷地を花巻市に寄附したい旨の申出があったことから、地積測量を実施。
 次の屯所更新までの賃貸借料…844,800円
 - ・第17分団第6部
 建築予定敷地土地所有者より、消防屯所を更新整備するのであればその敷地を花巻市に寄附したい旨の申出があったことから、地積測量を実施。

- ◇ 経費内訳
- ・第4分団第5部 451,041円
 - ・第17分団第6部 581,427円
- 合計 1,032,468円